

住宅施策の理念・目標

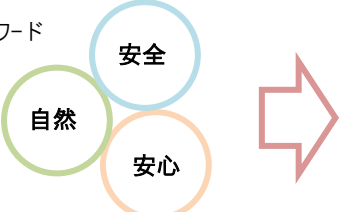
第3章

第1節 理念

桐生市は、歴史ある文化やまち並み、産業とともに発展してきた十分な都市基盤、恵まれた自然環境などの魅力があふれたまちですが、中心市街地を含め人口減少が加速しており、更なる超少子高齢化社会の到来に向けて、移住・定住促進に住宅政策からも取り組み続ける必要があります。

【市民意識：「市民の声」アンケート（令和元年度）】

●住み続けたいと思うまち

キーワード	
	<ol style="list-style-type: none">1. 自然が豊かであり、安心なまち2. 日常生活が安全、安心して暮らせるまち3. 静かで安心して楽しく生活できるようなまち4. 豊かな自然と安心して暮らせるまち5. 家族が安全・安心して暮らせるまち

●移住・定住を考えている人に伝えたい魅力

- ◆川や山など豊かな自然
- ◆歴史あるまち並みや伝統産業

【桐生市第六次総合計画（令和2年度～令和9年度）】

新たなまちづくりの計画として SDGs（持続可能な開発目標）など地球規模での取組の進展や市民のライフスタイルの多様化といった桐生市を取り巻く環境の変化を踏まえ、「目指すべきまちの姿」を示しています。

将来都市像	『感性育み 未来織りなす 粋なまち 桐生』
基本テーマ（理念）	1. “感性”を育む人づくり 2. “つながり”を生かしたまちづくり

住宅施策においても、「“つながり”を生かしたまちづくり」に取り組み、「感性育み未来織りなす粋なまち桐生」の実現を目指します。

本計画では、住宅ストックを活用し持続可能な社会の実現のため、長きにわたり住み続けたいまち、住み続けられる住まいづくりに、市民・事業者・行政の協働のもと取り組みます。桐生市の魅力を次世代が暮らす未来につなぐことを目標として、以下の基本理念を設定します。

基本理念

未来につなげる住みたいまち

～ 桐生の自然・歴史・豊かな暮らしを次の世代へ～

第2節 基本目標

基本理念及び住宅施策の課題への対応を踏まえ、基本目標は以下のとおり設定します。

目標 1

魅力ある、住みたい 住み続けたい住宅・住環境づくり

桐生地区の歴史あるまち並みや、新里・黒保根地区に見られる豊かな自然環境などの地域資源を生かし、立地特性に応じた魅力ある住宅・住環境づくりを促進します。

また、「桐生市コンパクトシティ計画」に位置づけられた目標である「誰もが住みたいと思えるまち、誰もが住み続けたいまち桐生」の実現を目指し、まちづくり施策等と連携した持続可能なコンパクトシティ形成に寄与する、魅力ある、住みたい 住み続けたい住宅・住環境づくりを目指します。

目標 2

安心して暮らせる安全な住宅・住環境づくり

住まいは、未来を担う子どもたちが育つ場、みんなが明日への活力を養う場所であることを踏まえ、ユニバーサルデザインの考え方を基本とし、子どもや高齢者、障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせる安全な住宅や住環境づくりを目指します。

また、時代の潮流として、SDGsの達成や住まいや家庭部門からも環境負荷低減が求められることから、環境負荷低減に寄与する長く住むことができる質の高い住宅・住環境づくりを目指します。

目標 3

安定した居住を確保できる住宅・住環境づくり

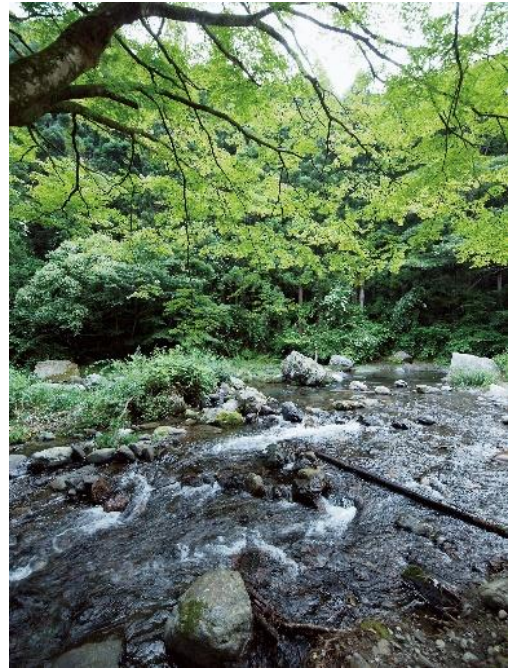
経済的な理由などにより、市場において自力で住宅確保が難しい住宅困窮者については、市営住宅をはじめとした公的住宅の供給等によるハード面の支援と併せ、民間賃貸住宅への入居支援等、住宅確保要配慮者等のニーズに応じた居住の安定確保を目指します。

また、既に数的には充足している既存住宅ストックを有効活用し、増加する高齢単身世帯や高齢者世帯の身体状況の変化に合せた各種リフォームの促進や、子育て世帯が子育てしやすい住宅への住み替えが容易となるような支援など、市民がライフステージの変化等により多様化する居住ニーズに柔軟に対応できる住宅・住環境づくりを目指します。

川や山などの豊かな自然



荒神山から赤城山を望む



桐生川源流林

歴史あるまち並みや伝統産業



桐生新町伝統的建造物群保存地区
旧曾我織物工場



桐生新町伝統的建造物群保存地区
本町通りのまち並み



旧今源織物工場



